

ごあいさつ

平成 18 年 3 月に 1 市 3 町が合併し、新たな一步を踏み出した香取市は、平成 20 年 3 月に「香取市総合計画」を策定し、「元気と笑顔があふれるまち～一人ひとりの市民が輝く 活みなぎる やすらぎの郷 香取～」を本市が目指すべき将来都市像とし、その実現に向けて全力で取り組んでいるところであります。

しかしながら、近年の社会経済情勢の変化は大きく、また少子高齢社会の到来、国際化、高度情報化や環境問題など、地方都市を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあり、今後適切に対応していかなければならない多くの課題があります。

また、舟運の発達により、物流の拠点・河港商業都市として繁栄してきた佐原区、利根川や黒部川を中心に水との深い関わりの中で発展してきた小見川区、肥沃な土地を活かし農業を中心に発展してきた山田区及び栗源区のそれぞれ異なった特色をもつ区域を、一つの都市としてつくりあげていくことも、大きな課題となっております。

こうした現状を踏まえ平成 39 年を目標年次として、本市の都市計画の基本方針となる「香取市都市計画マスタープラン」の策定作業を進めてまいりました。

このマスタープランは香取市総合計画に即し、概ね 20 年後のまちづくりの方向性を「全体構想」、「地域別構想」及び「実現のための方策」の 3 本の柱で示しております。

特に「実現のための方策」において、まちづくりの基本となる都市計画区域について、その方向性を明らかにしたことは、今後の香取市の早期の一体性の醸成と計画的なまちづくりの推進に大きく寄与するものと自負しております。

今後とも、総合計画やこのマスタープランの基本姿勢であります市民協働のまちづくりのもとに、誰もが健やかで元気に暮らせる地方都市として、また、いつまでも住み続けたいと思えるまちの実現に向けて鋭意努力してまいりますので、市民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

終わりに、計画の策定にあたり、都市計画審議会、また策定委員会の皆様をはじめ、各区地域協議会、各種団体、そして地域別懇談会などで貴重なご意見をお寄せいただいた市民の方々など、関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

平成 22 年 12 月

香取市長 宇井 茂一

